

日本初※

遠隔運行管理による 自家用有償を実現

※当社調べ



自家用有償トータルサポート 

『交通空白』の解消に向けて

自家用有償トータルサポート
サービス概要、自治体 導入事例等のご紹介

日野自動車株式会社

取締役・専務役員(日本事業COO)

佐藤 直樹

Chief Operation Officer / Naoki Sato

日野自動車について

基本理念

人、そして物の移動を支え、
豊かで住みよい世界と未来に貢献する

●世界中に広がるHINOの
海外拠点とディストリビューター

グローバル
約100ヶ国で稼働



会社概要

会社名	日野自動車株式会社
本社所在地	東京都日野市日野台3丁目1番地1
創業	1910年(明治43年)8月1日
設立	1942年(昭和17年)5月1日
資本金	72,717百万円
発行済株式数	574,580,850株
代表者	代表取締役社長 CEO 小木曾 聡
従業員数	33,314人*
製品	トラック・バス、小型商用車・乗用車(トヨタ自動車(株)よりの受託車)、 各種エンジン、補給部品等

日野の交通課題への取り組み

バス事業者様や自治体様と共に、地域ごとに抱える課題の解決に取り組んでいます

公共交通が持続する地域

都市部路線バス



地方部:補助金前提で維持



コミュバス



交通事業者様との伴走

車両×ソリューションの切り口でバス運行をサポート

交通空白地

公共の移動手段が存在しない

住民主体の助け合い交通
自家用有償輸送制度



地域の困りごとに寄り添い伴走

地域ごと最適な交通の立案～運行をサポート

車内転倒防止ソリューション



AI活用によるドライバー支援



自動運転実証

十勝バス様との地域活性化PJT @帯広



地方バス路線の活性化

23/7 鳥取県智頭町から開始



自家用有償トータルサポート

自家用有償トータルサポート

運行立ち上げご支援

- 自家用有償申請サポート など



遠隔運行管理サポート

- 法定の運行管理業務支援 ※



※主な運行管理受託業務

点呼実施・記録、安全運転指導、乗務結果の記録、事故処理の支援、
運転者台帳の作成、実績報告書の作成、苦情・事故処理記録、シフト作成 など

予約・配車機能

万が一をサポート

自家用有償の導入検討から運行開始後のオペレーションまで
自治体様、事業者様と一緒に作り上げるサービスをワンストップでご準備

FULL SUPPORT !

自家用有償の運行モデル

- ・自家用有償では、地域の実情に合わせた多様な運行モデルが存在。
- ・各地域にとってベストな運行体制を模索し、持続的な運行を目指しております。

自治体直営モデル

運行主体：自治体様

→自治体でドライバー雇用、車両保有

事業者共存モデル

運行主体：自治体様

→実運行は地域の事業者様へ委託

住民共助モデル

運営主体：地域のNPO等

→住民ドライバーが運行

New !

観光対応ライドシェアモデル

ご採用自治体と運行モデル



『運行管理の担い手不足を解決』

R2年11月：検討開始 R5年4月：ご利用開始

自治体名	人口	交通の名称	運行形態	台数	運行主体
鳥取県智頭町	6千人	AI 乗り合いタクシー 「のりりん」	区域デマンド	10～15 ※稼働により変動	智頭町 共助交通 運営協議会

2024年8月時点

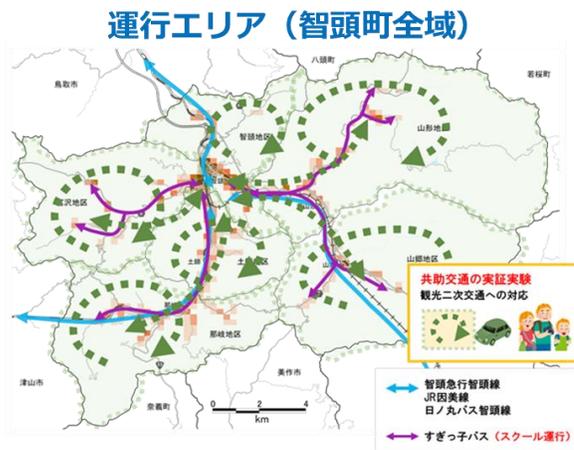
課題：町内から事業者様が撤退、運行管理の担い手が確保できない

解決策：遠隔運行管理サービスを利用頂くことで事業が成立、運行管理に加え、ドライバー様の声を元にした改善提案も継続的に実施

智頭町 企画課
課長 酒本様
(当時)



車両：自家用車持込
(一部自治体公用車有)



自治体様コメント

本格運行(有償化)を見据えた時、ドライバーのシフト組みや運行管理が非常に大変だという課題が浮かび、住民ドライバーの点呼を中心に運行をサポート頂き助かっています。

『タクシー事業と自家用有償の共存・共栄を実現』

R5年10月：検討開始

R6年4月：ご利用開始

自治体名	人口	交通の名称	運行形態	台数	運行主体
兵庫県朝来市	2.9万人	あさGO	区域デマンド	2	交通事業者

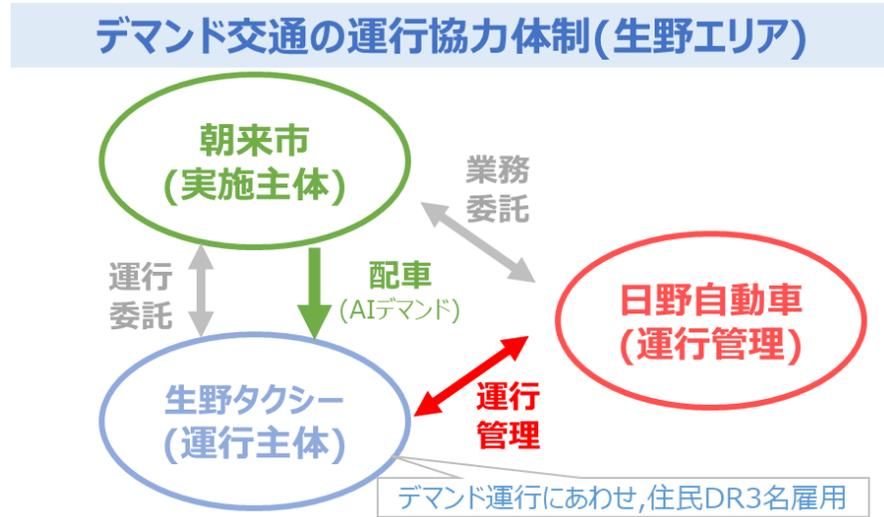
2024年8月時点

課題：委託先の事業者様が1人運営で住民ドライバーの管理がやりきれない

解決策：運行管理のみ弊社へ委託、**事業者様との共存型でデマンド運行成立**



車両：自治体様所有(貸与)



朝来市 総合政策課

副課長 足立様



自治体様コメント

「タクシー事業者がタクシー事業と住民ドライバーの管理を行うことは大丈夫だろうか？」との不安もありましたが、日野さんに支援頂く事で双方の事業を成り立たせることができました。

『一括マネジメントで運行団体様の負担軽減と運行維持に貢献』

R2年10月検討開始

R6年7月：ご利用開始

自治体名	人口	交通の名称	運行形態	台数	運行主体
鳥取県鳥取市	18.3千人	ふるさとバス など	定時定路 デマンド	1～3 団体による	NPO法人OMUなど 全6団体

2024年8月時点

課題：各団体の**運営負担が大きく後継者不足**が課題、管理方法にもバラつきあり

解決策：市内6団体の運行管理を一括委託、持続性担保と管理レベル向上を実現



車両：運行団体様保有
(自治体補助)



鳥取市
交通政策課

課長 宮谷様



自治体様コメント

6団体の運行管理を一括マネジメントし、運行管理の水準を確保できるだけでなく、**運行主体の負担軽減、安心**にもつながっています。



『冬季リゾート需要向けライドシェア実証に参画』

-長野・志賀高原 R6年12月より 運行開始予定-

国内最大規模のスキー場エリア⇔宿泊施設などの二次交通に自家用車を活用

〈概要〉

- 運行主体様：（一社）志賀高原索道協会様
- 運行開始日（予定）：12月より
- ドライバー募集数：25名（最大）
- 日野：遠隔運行管理、シフト管理業務 等

運行状況のリアルタイム遠隔サポートも実施



資料：プレミア・ブライコネクト社 ご提供

現場での課題と今後の取り組み

交通空白の解消に向け、自家用有償・公共ライドシェアはますます重要に！

やってみて分かった『あったらいいな！』の解決策をどんどん形にしていきます

取り組む中で顕在化した課題

自家用ドライバーの
安全・安心確保

予約受付・配車の
担い手不足

運行管理に係る
負担軽減

実現したい事

位置情報、通信ドラレコ等を活用
動態データによる運行状況把握

地域に根差した予約受付・配車業務を
パートナー様と共にご支援

デジタル活用し点呼業務を高度化
運行管理品質を維持・効率化

状況

実証中

実証中

開発検討中

豊富な知識と経験を持つ皆様と一緒に知恵を出し合い、課題解決を加速していきたい

官民PFへの期待と弊社の貢献

みなさまの知見と我々のノウハウが結合し、新たなソリューションが生まれることを期待

①バス・トラックの製造を通じての貢献

移動ニーズを形にするノウハウ



ポンチョ（初代&現行モデル）



小型電動モビリティバス（試作車）



ハイブリッド連節バス

②モビリティ領域における新たな取り組み

課題ごとの最適パートナーと、素早くソリューションを提供



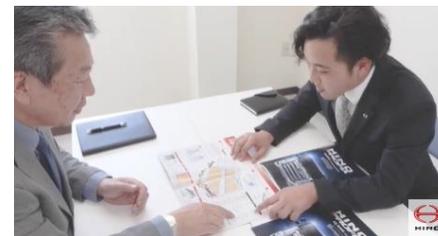
商用EV導入サービス



ゴミ収集高度化

③販売ネットワークの活用

地域密着型のサービス提供においては全国の販売整備網の活用も検討



共に力を合わせ、交通空白の解消に取り組んでいきたい

人、そして物の移動を支え、
豊かで住みよい世界と未来に貢献する

ご清聴ありがとうございました。

